

# 轟小だより



令和5年度テーマ「わくわく」～一人一人の願いを実現する轟小学校～

R6.2.22 2月号

児童も、家庭・地域も、職員も幸せな学校に（轟小は3台の車が一つになって前に進む）

発行 日光市立轟小学校

3学期も折り返しとなりました。「卒業」「進級」という言葉がちらほらと聞こえ、仕上げの時期を迎えています。今月は、一つ上に成長する子どもたちの姿をお伝えしていきます。

## 《感謝の会 ～地域の皆様、お世話になりました～》

前回お伝えしました本校ボランティアの方々をお呼びして、感謝の会を開きました。会を企画運営してくれたのは感謝の会実行委員さんたちです。感謝の気持ちをどのように表現するか考え、プレゼントやゲームを企画しました。当日は、たくさんのボランティアさんたちに参加していただき、楽しいひとときを過ごすことができました。



ボランティアの皆様、お世話になりました。



お礼の手紙とお花をわたしました。



じゃんけんゲームをして楽しく過ごしました。



感謝の会実行委員さんたちの進行も立派にできました。前日までの練習の成果です。



最後に歌のプレゼント。ピアノの音と子ども達の歌声が、体育館によく響きました。2名のピアノの伴奏者も、立派に演奏できました。

## 《 第3回学校運営協議会 ～どんな学校にしたい?～ 》

2/21(水) 第3回学校運営協議会が開催されました。今回のテーマは「どんな学校にしたい?」です。前半は、4年生・5年生が参加し、5つのグループに分かれて委員さんたちと話し合いました。児童も委員さんも穏やか雰囲気の中、前向きな意見がたくさん出されました。



後半は、教職員と委員さんたちの懇談会が行われました。前半の話合いを受けて児童の思いを共有したり、情報交換をしたりして、親睦を深めることができました。感想を一部紹介します。

(学校運営協議会委員さん)・楽しい学校にするために子どもたちがたくさんアイデアを出しており、とてもしっかりと考えを持っていることがわかりました。なるべくいろいろ実現させてあげられるといいですね。私たちも協力いたします。



・ここ数年で子どもたちが楽しむ時間が少なくなってしまったので、これまでの本当の轟小の楽しみを全学年の子どもたちに経験させてあげたいです。

・子どもたちは、休み時間(自由な時間)をちゃんととりたいと思っている。その時間で、友達とのコミュニケーションを深めたいと思っているのでは?また、コロナ禍でできなくなった行事の復活を望んでいる。学業はもちろん大切だが、記憶に残るような行事の必要性を感じた。

(教職員)

・地域の方とお話する機会があり、とても良い時間でした。子どもたちの希望はわかりますが、どうやったら実現するのか、全てを取り入れるのは難しいけど・・・と考えさせられました。本校の周りには技術の高い方が多いと聞いたので、探ってみてもおもしろいです!

・子どもたちの真剣な思いがワークシートから伝わってきました。今日は、4,5年生の「〇〇したい」であったが、1~3年生にも同じように質問したら、また新鮮な意見が出てくるかもしれないと感じた。新しい学校像と伝統を残す間で難しい部分もあるかと思うが、轟小が全員笑顔でいられる取組が課題だと思う。

## 《 とどぽんタイム～地域学習～ 》

今年度最後のとどぽんタイムは、元宇都宮ブリッツェンの選手をお迎えして、お話を聞きました。自転車ロードレースの選手だった頃のいろいろなエピソードを話していただき、子どもたちは興味津々な様子でした。ふり返りシートには「ぼくも夢を持とうと思った。」「夢を叶えたいと思った。」等、たくさん感想が書かれました。

